

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 1 月 6 日作成)

小委員会名	木質構造材料・接合部の変形破壊小委員会		主 査 名：軽部正彦 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (木質構造運営委員会)		委員長名：緑川光正 主 査 名：五十田博
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2016 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>木質構造の変形や破壊について理解を深めることは安全な木質構造の実現のために不可欠であり、実務設計者に対してこれらの情報を整理して提供する必要がある。本小委員会は、2010 年 4 月から 2013 年 3 月まで活動した「構造用木質材料の変形と破壊に関する小委員会」の議論を引き継ぐと共に、その対象を接合部に拡張し、これらの情報を収集して本学会独自の見識を加え、木質構造の実務設計に資する出版物の作成を目指す。</p> <p>初年度：構造用木質材料の変形と破壊に関する小委員会で作成したデータベースを接合部にも拡張し、最新情報の収集と更新を行う。最終出版物のイメージを確認すると共に執筆担当者を見直し、統一した体裁へ取りまとめる。</p> <p>2 年度：出版用原稿を取り纏め、運営委員会、構造委員会の査読を受ける。修正作業を経て、事務局に出版を依頼する。</p> <p>3 年度：出版後の活動として講習会を計画・実施する。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：軽部正彦 (森林総合研究所)、幹事：板垣直行 (秋田県立大学)、委員：青木謙治 (東京大学)、稲山正弘 (東京大学)、小野泰 (ものづくり大学)、蒲池健 (山田憲明構造設計事務所)、河内武 (清水建設)、神戸渡 (関東学院大学)、楠寿博 (竹中工務店)、小林研治 (静岡大学)、澤田圭 (北海道大学)、照井清貴 (ポラス暮らし科学研究所)、原田浩司 (木構造振興)、福山弘 (福山弘構造デザイン)、宮武敦 (森林総合研究所)、WG 委員：井上正文 (大分大学)、腰原幹雄 (東京大学)、貞広修 (清水建設)、槌本敬大 (建築研究所)、中川貴文 (建築研究所)、野田康信 (森林総合研究所)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>木質構造変形破壊資料活用検討 WG： 最終成果物の編集支援および活用の検討を行う。</p>		
2015 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：-	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 当初計画に対して遅れがあったが、設置目的にある目標の通り、先行の小委員会の成果を引き継ぎつつ、更なる検討を加え、成果刊行物として取り纏めた。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 成果物刊行のフォローアップは、新設の木質構造接合部設計マニュアル改定検討小委員会に引き継ぐ。